

2018年9月12日

南山学会会員の皆様

南山学会常任理事 奥村 康行

2019年度「南山大学学術叢書」出版助成の募集について

2019年度「南山大学学術叢書」出版助成の募集をいたしますので、『「南山大学学術叢書」出版助成要領』に基づき、下記のとおり出版助成申請の手続きをお知らせいたします。

記

1. 助成対象

- ① 学術研究の優れた業績（独創的学術書のみ）を出版助成の対象とし、個人著作・共同著作を問わず、また外国語による出版を含める。ただし、南山学会会員以外との共同著作については、南山学会会員の執筆分担量が3/4以上のものを対象とする。
- ② 翻訳書および教科書形式のものについては、原則として対象外とする。
- ③ 正会員が、退職して名誉教授の称号を授与された場合、その年度を含めて3年間は、会員と同一の手続きで出版助成の適用を申請することができる。
- ④ 同一正会員による第2、第3の出版計画については、先の出版物の刊行後5年を経た時点で、年間予定出版数（原則として7件）を下回った場合に理事会において取り上げることができる。

2. 出版助成の応募

2018年10月31日（水）までに『「南山大学学術叢書」出版助成申請書』を提出

3. 審査書類の提出

2019年3月29日（金）までに以下の書類を提出

- ① 『「南山大学学術叢書」審査委員候補者推薦名簿』6名分（学内者2名、学外者4名）
※本学名誉教授は学内者
- ② 完成原稿（出版社等へ原稿を渡して組版等の作業に取りかけられる状態の原稿）
- ③ 出版経費概算見積書（様式の指定はありません。宛先は「南山大学」としてください。）

4. 留意事項

- ① 『「南山大学学術叢書」出版助成要領』を必ずご確認ください。
- ② 助成額は、製作費用が220万円以内の場合は実費全額を助成し、220万円を超える場合は、その超過分は自己負担となります。
- ③ 助成が決定した場合、200部を本学へ献本し、うち70部まで著作者謹呈分として送付ができます。見積書依頼時に、出版社へその点も踏まえご説明ください。

- ④ 審査に公正を期すため、審査委員候補者には事前にご連絡等お取りにならないようお願いいたします。
- ⑤ 提出された原稿は、訂正もしくは通常の校正作業と考えられるものを除き、無断改変はできません。
- ⑥ 母語以外の言語で執筆する場合は、原稿提出前にネイティブ・チェックを受けてください。
- ⑦ 今後の予定
 - 4月中旬 南山大学学術叢書出版助成に適用可否審議、審査委員の選出
 - 7月下旬 出版助成の可否決定
 - 助成決定後 申請者と南山大学で『「南山大学学術叢書」出版助成に係る確認書』の取り交わし

5. 書類提出先、問い合わせ先

南山大学 教育・研究支援事務室（本部棟2階）

内線：1184 E-mail：kenkyu-support@nanzan-u.ac.jp

以上